

昨年、一昨年コロナ感染症の影響で中止としていた「有峰公開観察会」を3年振りに8月21日（日）に開催しました。前日から当日の早朝までの雨天で開催が心配されましたが、天気は高曇りで直射日光も少なく、参加者は涼しい有峰の晩夏を満喫しました。

今回は冷夕谷遊歩道北口にて「はじまりの会」を実施、有峰森林文化村中川次長の挨拶に続き、今回の講師、富山県生物学会の佐藤 卓氏・福田 保氏・草間 啓氏の3名を紹介しました。

○観察会1「ライトランセクト調査に基づく冷夕谷遊歩道の植生調査」担当：佐藤講師

最初の観察会「ライトランセクト調査に基づく冷夕谷遊歩道の植生調査について、佐藤講師より概要説明を受けました。ライトランセクト法は林相区分または特徴的な地形ごとの植生の出現頻度を比較するもので、北口の入山口付近と南口の下山口付近の2箇所を実施しました。両調査地点に30mの巻尺を伸ばし、10m毎に調査区間を設定し、遊歩道両サイド2m範囲（4m×10m四方）の植物を目視し、確認できた木本植物の種名を現地で記入していきました。北口付近の高木層の優占種はミズナラ、南口付近の高木層の優占種は人工林のカラマツであることを参加者全員で観察・共有しました。両区分の亜高木層や低木層の樹種はノリウツギ、ウワミズザクラ、トチノキ、ヤマモミジ、シナノキ、ガマズミ、ウリハダカ、オオカメノキ、ツリバナ、マンサク、サワフタギ、コシアブラ、ヤマウルシ、アズキナシ、オオバクロモジ、タムシバなどで、各樹種の特徴や名前の由来について佐藤講師より説明を受けました。

佐藤講師は、裏に1樹種の葉っぱの点描画を印刷した名札を各自に配布し、“1人1木を覚える”をスローガンとし、樹種を覚えるように配慮されました。参加者は、佐藤講師の説明に傾注、質問も多く出て、樹種の同定では全員参加の観察会となり、大変盛り上がりました。調査場所によって高木層の優先種に相違があること、亜高木層と低木層の林相に共通点が見られることも学びました。冷夕谷遊歩道の南口からバス移動、冷夕谷遊歩道で昼食を取りました。



はじめに今回の講師3名を紹介



調査内容について説明中の佐藤講師



ライトランセクト法調査中の参加者



説明中の佐藤講師



野帳に樹種記入中の参加者



ブナについて説明中の佐藤講師



トチノキのあがりこについて説明の佐藤講師



冷タ谷キャンプ場での昼食の様子

○観察会2「西谷川での水生生物調査」担当:福田講師及び草間講師

昼食後、西谷へ移動し、福田講師及び草間講師の指導の下、水生生物の調査、観察を行いました。参加者は調査に当たっての注意点を受けた後、西谷川に入りタモ網やザルなどを用い水生生物の採集に興じました。昨日の降雨で、西谷川が少々増水していたため、川岸を中心とした水生生物調査となりました。魚類としてニッコウイワナ、両生類としてハコネサンショウウオを、水生昆虫としてカワゲラ目、トビゲラ目の幼虫などを採集しました。採集した水生生物について、福田(魚類・水生昆虫担当)、草間(両生類・爬虫類担当)両講師より、その特徴について説明を受けました。参加者は両講師の説明に傾注しながら、観察用のミニ水槽越しに見る天然のイワナやサンショウウオに興味津々で観察していました。採集時間が40分程度と短時間であったにもかかわらず意外と多くの西谷川に生息する主要生物を見ることができました。



西谷川で水生生物調査中の参加者



西谷川で水生生物調査中の参加者



水生昆虫について説明中の福田講師



ニッコウイワナ観察中の参加者

○観察会3 「猪根平 旧有峰ハウス ため池周辺での生き物調査」

担当：福田講師及び草間講師

西谷から猪根平へのバス移動の途上、佐藤講師の案内で、旧有峰村民有峰人の墓所を訪れ、有峰人の歴史や民族にも触れる貴重な体験・体感を行いました。猪根平へ移動し、猪根平旧有峰ハウス裏のため池にて、そこに生息する両生類クロサンショウウオの幼生やモリオアガエルのオタマジャクシを採集し、観察を行いました。草間講師から、富山県には5種類のサンショウウオが生息していること、有峰はこのうち、クロサンショウウオ、ヒダサンショウウオ、ハコネサンショウウオ、ハクバサンショウウオ(希少野生生物)の4種が生息している貴重な場所であるため、自然を大切にしてほしいとの説明を受けました。さらに、福田・草間両講師の説明下、ごく近くで事前採集した爬虫類・ヤマカガシやカナヘビの観察や接触体験する嬉しいハプニングとなりました。

最後にビジターセンターに移動し、「ふりかえりの会」を開催、アンケート記入後、各講師から講評を戴いた後、有峰森林文化村中川次長の挨拶で「有峰公開観察会」を終了しました。



有峰人の歴史について説明中の佐藤講師



水生生物について説明中の福田講師



サンショウウオについて説明中の草間講師



アンケート記載中の参加者

良かった点

3年ぶりの開催となった「有峰公開観察会」は、佐藤講師(専門分野:植物)、福田講師(専門分野:水生生物全般)と草間講師(専門分野:爬虫類・両生類他)3名の布陣となりました。各講師とも、自前の資料を準備され、有峰に生息する動植物について丁寧に説明いただき、参加者に大変好評であった。

今回の課題

富山県内でのコロナ感染者が急拡大(連日2000人超)の影響で参加予定者が濃厚接触者であることでキャンセルが発生し、最終的には14名となり、参加者が少なくなったこと。富山県内各地で前日(土曜)は豪雨となり、有峰では少雨であったものの日曜未明まで降雨予想があり、行事決行の判断が当日早朝となったこと